



環境科学研究科

Graduate School of Environmental Studies

Activity Report 2006

ごあいさつ

環境科学研究科のアクティビティ・レポートは本誌で4回目の発行となり、研究科は創立以来5年目の年を迎えようとしています。文理の枠組みを越えて、新たな学問領域である「環境科学」を構築することを目標として、教職員一同、手を携えて努力してきたつもりであります。基幹分野がキャンパスに分散し、分野を越えた学問の融合には不利な状況にあるものの、研究科運営の共同作業や毎年開催している研究発表会を通して、教員同士の連携は着実に強くなっております。教育面では、4つの専門教育コースに加えて、「ヒューマン・セキュリティ国際連携プログラム」と「高度環境政策・技術マネジメント人材養成ユニット」を走らせており、留学生や社会人を対象とした充実した教育を行なっています。研究面でも個々の研究分野の高度専門研究に加え、「地圏環境インフォマティクスのシステム開発と全国展開」を始めとする産学官連携研究を推進しており、それらの果実は着実に実りつつあります。地球環境問題がますます深刻化する中で、社会と産業の新しいガイドラインが求められている今こそ、私達の研究科の役割が果たされなければなりません。この決意をもって5年目を迎えたいと思っております。



東北大学大学院 環境科学研究科長

谷口尚司